

町指定文化財 上村のシメナワ日待ち

上村(中組)では集落の入り口となる道にしめ縄を架け渡しています。かつては毎年7月1日を「シメナワ日待ち」と呼び実施していました。現在は6月下旬の日曜日に行っています。

稲藁を継ぎ足しながら約8mのシメナワを作り、ミョウガの葉とモモの枝を足につけます。このシメナワを道路脇に立てた竹と木に渡します。シメナワを集落の入り口にかけることは集落に災厄が入ることを防ぐ意味があり、集落内の安全を祈願しています。

明和町内では池村にも集落の入り口となる道にシメナワを渡す風習がありました。



シメナワを作るようす



シメナワを道に渡す



上村・池村の
道切り行事

キーワード：伝統行事、シメナワ日待ち、道切り